

仮説「全ての病気はミネラル欠乏症です。」

私には左足に「アトピー性皮膚炎」があります。

3年前に右足に発症し、右足を掻くのを止めたら、そのかわりに左足を掻き始めました。

掻くのを止めた右足の「アトピー性皮膚炎」は自然治癒したのですが、左足の「アトピー性皮膚炎」がなかなか治らない。皮膚科クリニックや地域の大病院の皮膚科

(都立)で診てもらいましたが「乾癬」と診断されたり、「アトピー性皮膚炎」と診断されたり、先生によって診断が分かれる、という複雑さです。

ところが面白いことに、どちらの病気も「原因は不明」、「治療法も無い」のだそうで、出される薬はどちらもステロイド軟膏だけの「一時しのぎ」です。原因も不明、治療法も不明なら患者としては絶望するし

両足正面



左足側面



※○で囲んだ部分が患部

2011年3月8日撮影

東レの『除塩素シャワー トレシャワー®スリム』を使い始めて1ヵ月経とうというころ。炎症で赤くなっていた左足にバリバリ、カサカサした皮膚ができてはじめた。このまま推移すれば左足のアトピーも治りそう。

かない、そうでしょうか？違いますか。

ただ、右足のほうは掻くのを止めたら自然治癒したので、多少の希望は抱いています。試みに右足をもう一度掻いてみたら、直ぐにアトピーがぶり返しそうだったので、あわてて掻くのをやめました。やはり、掻くのはダメなようです。

足を掻くようになったきっかけ

なぜ、いかなる理由で私は足を掻くようになってしまったのか。

思いあたるのは、靴下のゴムがきつかったせいではないか、ということだけです。誰でも長時間靴下をはいていると、足首あたりが血行不良となって痒くなる。何気なく掻くと気持ちが良い。気持ちが良いから掻く。そのうち、「痒いから掻く」→「気持ちが良いから掻く」に変質してい

たように思う。掻くという行為が習慣化してしまい、止めようとしても無意識のうちに掻いてしまっている。気持ちが良いので止められない。恍惚としながら足を掻きまくる自分の姿を客観的にみて「まるで麻薬中毒患者ではないか」と思った。

そこで、強い意志の力で右足を掻かないことに決めた。右足はどんどん治ってゆき、それはそれで別の快感、達成感を味わえた。

しばらくして忘れていた恍惚感に気付いた。気がつくやうに左足を左手で掻いている。健康だったはずの左足が、右足と同じような場所が掻き筆られていた。右足の代わりに今度は左足である。人間とは弱いものだ。右足救済のために無意識のうちに左足を差し出したのだ。強い意志力で「右足を掻かない」と注意を払っているときは良い。どんどん良くなっていく過程に「魔

東レ株式会社
『除塩素シャワー
トレシャワー®スリム』
希望小売価格
(カートリッジ1個付)
6,090円(税込)

がひそむ。

この時点で「原因を究明してやろう」「自分が患者なのだから治療法を発見できるかも知れない」「そうならば、どれだけの方が救済されることか」。

何故かワクワクしてきた。

ひよっとしたら、コレが神の啓示というものなのか。

日本エリアだけに多い症状

⇒『アトピー性皮膚炎』

「アトピー性皮膚炎」について調べ始めた。

アトピーと言うだけあって、コレが原因ではないかというものは多種多様。

一番あやしいのは、日本だけが水道水に大量投入している塩素である。外国人でも日本の生活がある程度続けると「アトピー性皮膚炎」を発症する。

反対に日本人のひどい『アトピー性皮膚炎』の子供がハワイに行くときみみるうちに症状は良くなり、治ってしまう。ハワイと日本の違いは水道の水。ハワイの水道水には塩素（カルキ）は入っていない。

日本にいても実際に塩素を中和したり濾し取ったりすると「アトピー性皮膚炎」は改善する。塩素を取り除けばよくなる「アトピー性皮膚炎」患者は多いのだ。

私はバスクリンの塩素中和効果の高い入浴剤をつかったり、塩素を濾し取ってくれる東レの『除塩素シャワー トレシャワー®スリム』に活躍してもらっているのだが、左足は今一つ満足する回復に至らない。皮膚のビタミン「ビオチン」を毎日摂るようにしたり、痒い時には経皮鎮痛消炎

剤をつけたりして掻くのを我慢し、コエンザイムQ10入りのクリームをつけたりしても、どうしても治らない。なかなか改善してくれないのだ。何かほかに原因があるのではないか。

全ての病気の根本原因は『ミネラル欠乏』である。

何か、根本的なところに見落としはないのか。

「全ての病気の根本原因は『ミネラル欠乏』である。」という衝撃的な一文を見つけた。

なにか、素晴らしい発見でもしたような気分で見進んでゆく。

【重大な報告・・・栄養とミネラル】

この飽食の時代、食物の3大栄養素「タンパク質・炭水化物・脂質」が日本人に不足することはない。

しかし、このように食物が豊富な社会でも、食、栄養が原因の病気にかかる人が絶えない・・・このようなニュアンスで、主張は続きます。

【権威ある報告】

- ① 「国民の99%がミネラル欠乏症である」・・・アメリカ農務省
- ② 『ミネラルはタンパク、糖質、ビタミンよりも、人体の健康に直接的に左右し、バランスが崩れても、わずかな種類かのミネラルが欠けても、我々は病気になり、苦しみ、命を縮

める・・・マクガバンレポート（アメリカ上院文書264号）。

- ③ 「全ての病気、病態、病弊の根本原因は、ミネラル欠乏症である」・・・ライナス・ポーリング博士（ビタミンCの研究で有名。ノーベル化学賞、平和賞を受賞）。
- ④ 「他の栄養素はミネラルなしでは働かない。」・・・アール・ミンデル（米栄養学博士）
- ⑤ 「栄養・食生活は、多くの生活習慣病との関連が深く、また、生活の質との関連も深い」・・・健康日本21（厚生労働省）。

要約すると・・・ミネラルが欠乏している状態ではどんな対処療法も、どんな健康増進行為も無効だ・・・と言っている。

ここで、マクガバンレポートから「細胞は栄養素で満たされていると、病気にならないようにつくられている。」を引用。つまり、タンパク質、炭水化物、脂質、ビタミン、ミネラルなどの栄養素が細胞レベルにまで十分いきわたっていれば、人間の身体は健康である、ということ。

ミネラルが欠乏している状態ではどんな対処療法も、どんな健康増進行為も無効だ、 というのである。

「マクガバンレポート」とは？！

今から34年前、アメリカ上院栄養問題特別委員会より出されたレポートが「マクガバンレポート」。

進歩したアメリカの医学を活用し、巨額の医療費が注ぎ込まれているのに、国民はますます不健康になるばかりだ。この増え続ける現代病をストップさせない限り、アメリカは現代病に滅ぼされてしまう。

その衝撃の結果が、「ガン、心臓病、脳卒中など、アメリカの六大死因となっている病気は、現在の間違った食生活が原因になって起こる『食源病』である。

この間違った食生活を改めること、これらの病気を予防する以外に、先進国の国民が健康になる方法はない。」

食生活を正さない限り、国民医療費は増え続け、国民は病気で死んでゆく、と発表したのである。

アメリカが、くしゃみをすれば日本が風邪をひくというお国柄の日本。他人の振りみて我が振りを直さなければいけなかったはずなのだが、役人なんてものは、自分の任期中だけ平穏無事であれば良い。

日本の厚生省のくだらないお役人が天下り先に便宜を図るのに腐心しているときに、出されたレポートである。

マクガバンレポートが推奨する食生活
マクガバンレポートが推奨する食生活というものがある。

まず、『減らすもの』

- ① 脂肪、動物性たんぱく質、砂糖などを摂り過ぎないようにしましょう。
- ② でんぷん質を現在のカロリーの46%から55～60%に引き上げなさい。
- ③ 脂肪分は現在のカロリーの約40%から30%に減らしなさい。
- ④ 動物性脂肪は10%、植物性脂肪は20%を現在のカロリーから減らしなさい。
- ⑤ コレステロールを1日300mgに減らしなさい。
- ⑥ 砂糖の消費は40%減らして、カロリーの15%までにしなさい。
- ⑦ 塩は50～85%減らして、1日3gにしなさい。

次に『増やすもの』

不足しているので増やすもの。

- ① ビタミン、ミネラル、食物繊維など
- ② 約90種類の必須栄養素の補給
 - 60種類 必須ミネラル
 - 16種類 必須ビタミン
 - 12種類 必須アミノ酸
 - 3種類 必須脂肪酸

※全米科学財団

ゲリー・プライス・トッド博士

ミネラルの働き

ミネラルは、単体また他のミネラルやビタミンと協力して、以下のような働きをする、と書かれています。

- 1. ビタミンが効果的に働く
- 2. 筋肉繊維を柔らかくする
- 3. 丈夫な骨格をつくる
- 4. 良質な血液をつくる
- 5. 体内バランスを調整する
- 6. 抗酸化（老化防止）する
- 7. 消化を促進する
- 8. 細胞をつくる
- 9. ホルモンが効果的に働く
- 10. 酸素が体内で効果的に働く
- 11. 免疫の機能を活性化する
- 12. 酵素が体内で効果的に働く
- 13. エネルギーの蓄積
- 14. 毒素の排泄・分解を促す
- 15. 栄養の代謝を効率よくする
- 16. 神経を正常に働かせる

ミネラルってすごいですね。人間や動物の抱える病気、健康、寿命でさえ、左右してしまいます。

こんどはミネラル不足です。ミネラルの欠乏が続くとこんなことが起こりがち

- 精神面・・・緊張、落ち着きのなさ、集中力欠如、錯乱、神経質、妄想、不安症、不眠症、無気力、犯罪的・暴力的挙動・逆上
- 脳・・・学習障害、記憶の低下、めまい、頭痛
- 肌・・・湿疹、乾燥肌、皮膚炎、にきび

- 耳・・・難聴、耳鳴り
- 食欲・・・食症、異食、味覚障害
- 便通・・・下痢、頻繁な便通、便秘
- 手足・・・手足のしびれ、筋けいれん
- 体重・・・体重の増加、低減
- 脈・・・速い鼓動、貧脈・動悸
- 全身・・・疲れ、発汗過多、高気温への不忍耐、筋肉の痛み、風邪にかかりやすい、低基礎体温、発作、生育不全、虚弱・だるさ、悪性の体臭、性欲低下、生理痛
- つめ・・・つめがもろく割れやすい
- 呼吸・・・呼吸困難
- 頭・・・顔の腫れ
- 歯・・・虫歯、歯肉の減退
- 髪・・・乾いたもろい髪、縮れ毛、白髪、抜け毛

これら「ミネラル欠乏のサイン」は“ミネラル欠乏の結果”ですが、ミネラル欠乏のサインは不足しているミネラルをバランス良く補給することで、本来の心地よい状態に戻ると考えられます、とのこと。

しかし、その症状は臓器の異常などが原因かもしれません。それでも、ミネラル不足を解消することには大きな意義があり「ミネラル不足」を改善しておくことが症状の改善に直結し本当の病気を正しく発見できる肉体的な環境を作ったことになるからだ、そうです。

それにしても「白髪」「抜け毛」などは加齢のせいでは仕方ないと思っていましたが、ミネラルの不足に原因がある、

とのこと。銅の入ったサプリメントか食品を摂ることで、黒髪がフサフサになるかもしれませんね。

ミネラル欠乏でなる「病気」

- ・関節炎 ・腰痛（坐骨神経痛） ・うつ病 ・腎臓結石 ・骨軟化症 ・骨粗鬆症 ・糖尿病 ・低血糖症 ・末梢神経障害 ・脳性麻痺 ・高コレステロール血症 ・下垂症 ・甲状腺腫 ・甲状腺機能低下症 ・甲状腺過敏 ・口角びらん症 ・喘息 ・奇形 ・高血圧症 ・軟組織石灰化 ・死産、連続的流産 ・浮腫 ・知的無気力症 ・蛋白尿 ・白内障 ・不妊症 ・肝硬変 ・膵炎 ・すい臓萎縮症 ・男性の不妊症 ・赤血球貧血 ・心臓血管症 ・肥満症 ・前立腺肥大 ・インポテンツ など

■ミネラル欠乏の状態を長くそのままにしていると・・・臓器を作っている組織・細胞が異常になるのではないか。

ミネラル欠乏により①命に関わる、②QOLを著しく低下させる病気

- ・脳出血 ・川崎病 ・肝硬変 ・ガン・アルツハイマー病 ・エイズ ・膠原病、多発性硬化症 ・筋ジストロフィー ・パーキンソン氏病 ・乳幼児突然死症候群 ・冠動脈症候群 ・その他

いずれにしても、あまり、なりたい病気はありません。ミネラル欠乏のサインを早く見つけて、早くミネラルを補給したいものです。

ではどのようにして、どんなミネラルを補えば良いのでしょうか。

まず最初にサトウ製薬が販売している『BION3』バイオン3（新）という栄養機能食品がありますが、その最大の特徴は、乳酸菌3種類、ビタミン12種類、ミネラル9種類を1粒に配合。別々に複数のサプリメントを服用する必要がないコンセプトです。しかも、製法特許を取得した三層構造の「3 in 1」タブレットで、乳酸菌を死滅させずに、生きたまま腸に届きます。1日1粒で十分な栄養を効率よく補給できますので、大変便利です。

1粒(517.5mg)中にエネルギー・1.37kcal、たんぱく質・0.039g、脂質・0.028g、炭水化物・0.292g、ナトリウム・1.23mg、ビオチン・0.3mg、亜鉛・4.6mg、銅・3.5mg、鉄・7.5mg、マグネシウム・23.2mg、カルシウム・25.25mg、セレン・8μg、クロム・11μg、モリブデン・6μg、ビタミンA・135μg、ビタミンB1・5mg、ビタミンB2・5mg、ビタミンB6・5mg、ビタミンB12・5μg、ナイアシン・6mg、葉酸・150μg、ビタミンC・30mg、ビタミンD・5μg、パントテン酸・6mg、ビタミンE・13.8mg

BION3 バイオン3の1粒(517.5mg)中(330mg)の規格成分は

乳酸菌(フェカリス菌体)・5mg、乳酸菌(有孢子性乳酸菌)・5mg、乳酸菌(アシドフィルス菌)・10mg、ポリフェノール・30%以上含有、レスベラトール・50ppm以上含有、アントシアニン・0.4%以上含有です。



佐藤製薬株式会社の新しい『BION3 バイオン3』
希望小売価格
30粒 2,500円(税込)
60粒 4,500円(税込)

BION3 バイオン3の栄養機能表示

●ビオチンは、皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。

●葉酸は、赤血球の形成を助ける栄養素です。

●葉酸は、胎児の正常な発育に寄与する栄養素です。

さきに「製法特許を取得した三層構造の「3 in 1」タブレットで、乳酸菌を死滅させずに、生きたまま腸に届きます」と書きましたが、プロバイオティクスつまり、生きたままの乳酸菌をミネラルと一緒に腸まで届けるのは難しいことです。ミネラルの持つ殺菌作用で乳酸菌が死んでしまうからです。それを可能にした「3 in 1」タブレット技術はあっぱれ!!と称賛されるべきでしょう。

現代人はなぜミネラル不足となるのか

日本は世界中から食品や飼料を輸入しています。流通網も発達しているので肉でも野菜でも海産物、果物、穀類は世界中から国内に雪崩込んできます。当然世界中のミネラルが日本国内に堆積していなければなりません。世界からやって来た食品や飼料中のミネラルが排泄され、日本の土となって日本の穀物や野菜、果物、牛乳、乳製品、肉、卵、いわゆる国内で生産される農作物を含めた、食品に還元されているべきなのです。そうであれば、日本人のミネラル不足は「恐るるに足らず」です。堆肥を作って農作物にミネラルを巡回させてゆく、そういう理想的な農業を今までやっていたのかどうか。そのまま下水道に流し、はなはだしきは海洋投棄をするという「もったいない」ことをしていなかっただろうか。自然界では分離不可能なほど、有害な工場排水と混濁させていなかっただろうか。

農業も化学肥料や農薬で手抜き生産をしてこなかったか、良く振り返ってほしい。

人間の健康にとって必要不可欠なミネラルならば、工業力と科学の粋を集め、地球そのものである岩石からミネラルを取り出して畑に蒔き、栄養価の高い作物を供給したほうが、増え続ける国民医療費を手当てするよりずっとましな気がするのだからだろうか？

それが可能になれば、日本は世界に安全で、栄養価の高い、農作物の輸出国になれるかもしれないのだ。そうなったとき初めて、私の『アトピー性皮膚炎』も完治するかもしれない。